

## グローバル・カフェ「ドイツイベント」を開催しました

2023年7月13日(木)、グローバル・カフェでは「ドイツイベント」を開催しました。本学との学术交流協定校の(2000年協定締結)ドイツのボン=ライン=ズィーク大学に在籍中のSebastianさんと、同じく協定校(2002年締結)であるラインマイン大学に在籍中のSarahさん、Leaさんよりそれぞれの故郷について紹介していただきました。日本人学生11名、留学生10人、教職員5名の計26名が参加しました。

Sebastianさんの故郷はCologne(ケルン)という人口約100万人を超える大都市で、世界遺産に登録されているケルン大聖堂がとて有名です。ケルンでは、ドイツの中で最も有名な祭りの一つである「Kölner karneval」が毎年2月に開催されています。Sebastianさんはこの祭りについて、元々は軍国主義に対する抗議の意味合いを持ち、1800年代に始まった伝統的な祭りだが、今日では多くの人々が仮装し、色とりどりの衣装やマスクを着用して、パレードやダンスなどで街を賑わせていると話されました。祭り期間中には多くのアルコールが楽しまれることで知られており、地元のビールやカクテルが路上で豊富に販売されているそうです。



Frankfurt(フランクフルト)出身のSarahさんは、フランクフルトにはドイツ最大規模の国際空港であるフランクフルト空港や、フランクフルト証券取引所、欧州中央銀行が本拠地を置いていることから、金融ビジネスの中心地として重要な役割を担っていると話されました。また、フランクフルト周辺はリンゴの生産が盛んであることから、アップルワインと呼ばれるドイツ

の伝統的なお酒が有名だそうです。一般的にアルコール度数は4-6%程度で、辛口が主流ですが、甘口のアップルワインも存在し、SarahさんとLeaさんは辛口が好みで、Sebastianさんは甘口が好みだそうです。ドイツでは、ビール、ワインなどのアルコール度数が高くない酒は16歳から飲めます。スピリッツなどのアルコール度数が高いお酒は18

歳から飲酒可能で、驚くことに保護者同伴の場合は14歳から飲酒可能（アルコール度数が高くないものに限る）であるそうです。

Leaさんの故郷であるWiesbaden（ヴィースバーデン）は、数百年の歴史を持つ温泉地として有名で、美肌に良いとされる温泉水は多くの人に愛されているそうです。また、ヴィースバーデンにはドイツで最も古いカジノの一つである「カジノ・ヴィースバーデン（1810年創設）」があり、ブラックジャック、ポーカーなどのテーブルゲームや多くのスロットマシンを楽しむことができると話されました。ただし、カジノを利用するには18歳以上であることが条件で、ドレスコードもあると添えられました。



またドイツの歴史について、第二次世界大戦後、アメリカ、ソビエト連邦、イギリス、フランスの4か国による占領下におかれ、1945年から1991年にかけて4つに分割されていたこと、首都ベルリンも同様に4つの占領地域に分けられ、東ベルリンはソビエト連邦に含まれ、西ベルリンはアメリカ、イギリス、フランスの占領地域に含まれていたこと、東西を隔てるベルリンの

壁（1989年崩壊）によって、境界が厳格に管理されていたが、1990年10月3日、ドイツの再統一に伴い4つの占領国による統治も終わったこと等を、地図を交えながらお話しいただきました。

最後には、ドイツに関するトリビアクイズが10問出題され、グループに分かれた参加者が挑戦しました。全問正解したグループには、ドイツの伝統的なお菓子であるプレッチェルがプレゼントされました。

グローバル・カフェ前期のイベントが終了しました。たくさんのご参加をありがとうございました。後期にも授業や楽しいイベントを計画していますので、お気軽にお立ち寄りください。

